## 奈良県立大和中央高等学校 (定時制)

フリンナス 八川十大同寺ナ汉 ナス町画町画女 「台集・「地景・「大野・「大野・「大野・「大野・「大野・「大野・「大野・「大野・「大野・「大野							大向守子仪(此时前)	
	教育 目標	「自律」「敬愛」「進取」の校訓のもと、自主自立の精神をもって自分がなすべきことを適切に判断し行動できる生徒、情操豊かな心をもって自他の人格を尊重できる生徒、自ら進んで目標を定め、目標達成に向かって真剣に努力し、未来を切り開いていけるたくましさをもった生徒の育成を図る。						総合評価
運 営 方 針 保護者や地域等との密接な連携を図りながら、すべて			ての数職員が生徒理解を	其般レ  た语	ひかみのおろ数音を展開し 三部制の物	生星を生かした久廷の数音活動を行う		
前年度の成果と課題			「一			成と工がした自住の教育活動を行う。	具体的目標	$\dashv$
・主体的にあいさつできる生徒も少しずつ増えてきたが、まだ職員からの声掛け等が必要である。			本年度重点目標 (1) 自立した社会人となるための基礎形成を図る。		・教育活動全体を通して、規範意識や倫理観を粘り強く指導し、TPOに即した行動がとれるよう指導に努める。		_	
・日常の規範やモラルがしっかりと身に付いていない生徒が一部いることから、規範やモラルの大切さについて職員の			(2)生徒理解による基礎学力の定着に努める。		・キャリア教育や進路ガイダンスを推進し、進路意識の向上を図るとともに、進路未決定者の減少に努める。			
共通理解のもと、あらゆる角度から指導する必要がある。 ・進路に対する意識を高めるため進路ガイダンスをはじめ、進路に関わる情報をよりタイムリーに生徒に伝える。イン							意欲の向上に努め、高校卒業という目標達成に向けた支援を行う。 、教職員間の共通理解をより深めながら対応する。	
・ 連曲に対する意識を高めるため連曲ガイダンへをはしめ、連曲に関わる情報をよりダイムリーに主張に伝える。イントターンシップ等を活用し、卒業時の進路未決定率の減少に繋げたい。			(3)通級指導の実施校として取組の継続と充実に努める。			、教職員间の共通理解とより深めなから対応する。 識し、ICTを活用した授業を展開できるように努める。		
・校務システムの円滑な導入を目指し職員研修等の取組を行った。さらに効率的な活用を進めたい。			(4) 好ましい人間関係構築能力や社会性を育む。		性を育む。		など、地域力に学びながら、社会性の育成に努める。	
・生徒がより相談しやすい窓口としてのSC常駐は非常に有効であった。今後もSCやSSWとの協力のもと関係機関と連携を図り、支援が必要な生徒への対応を進め、職員研修等で共通理解を深める。			  (5)生徒の安全を守る取	組を充実させ	.a.	- ・部活動や生徒会活動への参加を促し、協調 ・生徒の一層の活躍の場となるよう、学校行	性やコミュニケーション能力等の育成を図る。 事等の工夫、見直しを行う。	
・部活動、生徒会活動、ボランティア活動の一層の活性化を図る。			  (6)自他の生命を大切にする行動ができるよう、指導の浸透を図る。			・危機管理マニュアル等の整備を進め、地域	の協力を得て学校安全体制づくりを推進する。	
・生徒の健康管理に向けて、保護者の協力をより得られるよう工夫する必要がある。 ・校内美化に対する意識の高まりや、安全点検の定着・点検結果の改善等、施設管理に一定の成果が見られた。					とるよう、拍等の反応を囚る。	・安全教育、防災教育においては、講演会等 ・「命の大切さ」を考えさせる取組を講演会		
[X1.3X1213	, Carrier of the same of the s		(7) 働き方改革の推進を	行つ。		・働き方改革の観点から、業務内容や役割分	担等の適正化を図る。	
評価項目	具体目標	具体的方策・評価指数		自己評価結果	成果と課題	【(評価結果の分析)	改善方法等	学校関係者評価及び改善方策
教 務 部	・校務システム「賢者」をメインのシステムとし て、導入できるように取り組む。本校の業務に合	<ul><li>・日々の出欠入力、集計、考査時間割作成、生徒時 成績会議資料、通知表、単位取得表などを可能</li></ul>			1 1 1 1			
	わせたシステムになるように、業者、各機関には	し、出力する。最終的には、校務システムを「賢			 			
	たらきかける。 ・令和4年度入学生からの新学習指導要領全面実施	・新旧の教育課程が混在するため、講座編成の原案	☑を各数科で給討Ⅰ. 夹		 			
	にあたり、現教育課程と合わせた講座編成を考え	年度以降の講座編成に反映させる。開講講座を厳			I I I			
	る。 ・授業にユニバーサルデザインを取り込めるよう	数が増やさないように考える。 ・授業研修(相互授業参観)の時期を2回にわけ、	<b>すず久</b> 数科 1 夕が塪業		 			
	に、また、ICT を活用した授業を全教員が実施で				! ! !			
	きるように、研修を計画し、実施する。	・授業時のあいさつ習慣を身に付けさせるなど、授	2 学坦伊の攻立に向け怪					
生徒指導部	退の減少を図る。	業担当者が徹底して指導出来るよう教職員全体へ						
	・あいさつ・言葉遣い等の基本的生活習慣の確立を 目指す。	・校内巡視等を通して生徒理解に努め、授業に出な 行うとともに生徒の観察の機会とする。	い生徒への声掛け等を					
	日相9。 ・「いじめ防止対策プロジェクトチーム」を中心組	・人権意識の高揚と豊かな心の育成を目指しながらも個々の生徒の状況			I   			
	織に据え、生徒一人ひとりに目を向け、少しの変	応じた対応を行う。また、教職員の気付く力を高める研修を実施す						
	化にも気づくように努めるとともに、さまざまな 状況に応じた認知を行う。また、職員の研修を充	・ 印の人切さを考えさせる講演会(楽物乱用防止・ る。	ロ权」的守りを夫配り					
	実させる。	・校内巡視や登下校指導を常時行い、生徒の見守りまた。地域は民人の連携を改し、生徒の観会会			! ! !			
	・生徒の生命を守る取組を推進する。 ・若者の薬物乱用防止を啓発する。	また、地域住民との連携を強化し、生徒の健全育 ・自転車通学、原付通学ともに事故ゼロを目指して						
	・人権・文化部と連携し、生徒個々に必要な支援に 取り組む。	会を定期的に開催する。 ・部活動や生徒会活動への生徒参加の啓発のために	・ ムルはに対して掛キ					
	・生徒の部活動参加を促進する。	かけを強め、より良い指導を積極的に行う。			1 1 1 1			
進路指導部	・進路ガイダンスや進路講演会を通して、キャリア	・日々の学校生活や面接指導を通して、コミュニケ	ーション能力の向上を		 			
	教育を充実させる。 ・生徒個々の目標実現のため、必要な指導と支援を	│ 図る。  ・「進路だより」「進路のしおり」を充実させ、進	: 改信報の提供と准改音		! ! !			
	充実させる。	識の向上を図る。			! ! !			
	・進路希望調査や面談を通し、自己の進路について 考えさせる。	・「進路に関する相談・指導記録カード」の有効利用と、進学記 講習の実施により、生徒の進路実現を支援する。 ・各種問題集、解説書、ガイドブック等の進路貸し出し図書の						
	5 A C E 0 .							
		<b>る</b> 。			I I I			
健康・環境部	・健康・安全の意識を高めさせ、自己管理を推進し、健康的な生活習慣を身に付けさせる。	・健康診断の結果や治療勧告書を確実に保護者へ届 を促す。	け、医療機関での受診					
		・「保健だより」や「食生活レター」を発行し、H	IR等で活用し自己管理		1 1 1 1			
	・校内美化に努めるなど、生徒の学習環境の整備を 図る。	を徹底させる。 ・毎時の教室整備整頓を定着させる。			1 1 1 1			
		・総合的な学習の取組として、月1回程度の清掃活動を実施する。						
	・生徒の生命を守るための教職員研修を実施する。	<ul><li>・部集会等の節目日の清掃活動を実施する。</li><li>・環境安全点検表に基づき、月1回安全点検を実施し、生徒が安全に</li></ul>						
	・疾病の予防に努める。	生活を送れるよう整備する。						
		<ul><li>・救急救命(アレルギー対応含む)研修を継続、計画実施する。</li><li>・新型コロナウイルス感染症予防のため、検温や消毒の徹底を図る</li></ul>			1 1 1 1			
	・特別支援教育および通級による指導の拡充を図	・実態把握の方法、支援、指導の計画の充実に努め	)る。また、ユニバーサ	<u> </u>				
人権・文化部	る。	ルデザイン等、全生徒に還元できる支援方法を構	築する。					
	・人権学習を通して、生徒に身の回りの不合理、矛	・教員の研修の場や情報をより多く提供するととも	に、生徒に寄り添った					
	盾に気付かせる。	教材づくりに努め、わかる授業に資する。			i 			
	・魅力ある文化行事を計画・実施する。	・文化行事については、綿密な企画と準備に力を入	れ、スケジュールに沿					
	・奨学金の事務を効率化する。	った形で実施する。						
		・奨学金事務をマニュアル化して効率化を図る。	****					
総務部	・前年度の反省事項や課題を踏まえ、儀式的行事や その他の学校行事等を円滑に進める。	・着任式、始業式、入学式、卒業式、離任式等の式 儀式的行事のあり方を追求する。	「典を見直し、より良い		 			
	·iボード、学校ホームページを機動的に活用す	· i ボード、学校ホームページの更新を積極的に行	い、有効な情報発信に					
	る。 ・後援会・同窓会・学校運営協議会との連携をさら	──努める。 ・後援会・同窓会・学校運営協議会との連携をさら	に深め、定期総会や学		! ! !			
	に深め、生徒が学びやすい環境づくりを行う。	校行事をはじめとする諸活動への参加・協力体制						
	・学校経営計画をはじめとする出版物の発行を円滑	足する学校運営協議会を軌道に乗せる。 ・学校経営計画、学校要覧、学校生活ガイドブック	、入学のしおり、学校		1 1 1 1			
	に行う。	案内等の出版物について、内容の見直しとスムー			1 1 1 1			
	・ICT機器を活用した業務を推進する。	・新型コロナ感染対策にもICT機器を有効に活用						
1・11・11部	・基本的な生活習慣の定着を図るとともに、生徒と 教職員との信頼関係を築く。	<ul><li>教職員自らが、授業だけでなくあらゆる場面でのがける。</li></ul>	)あいさつや声掛けを心		i    -			
	・生徒の状況を把握し、部 (I・Ⅱ・Ⅲ)を越えて 生徒理解に努める。	・部主任間で適時生徒に関する情報共有を行い、大 生徒の状況がわかるようにする。	和中央高校のすべての					
			ナスーレジ ウウヘツ		i    -  -			
	・進路に対する確かな意識を持たせ、進路実現のために行動できる生徒を育てる。	<ul><li>・上級生になるほど正しい言葉遣いができるように 路実現に繋がることを理解させる。</li></ul>	- なることか、目身の進					
	・学校施設の劣化状況の把握に努め、適切に維持管	・安全点検等により破損個所を把握し、早期の修繕			 			
事務部	理する。 ・来校者を把握するとともに、適切な対応に努め	・来校者の把握に努めるとともに、迅速かつ丁寧な ・法令、例規に則り適切に事業を進めるとともに、						
, 323 HF	る。 ・予算の適正かつ効率的な執行に努める。	める。			i    -  -			
	1. ササイント嘔エール、 ーメルテモロンタサスリリータテロンの。							